

2022年度 マリヤこども園 事業報告

1. 園の概要

(1) 基本情報

- ①名称 幼保連携型認定こども園 マリヤこども園
- ②所在地 八千代市米本1359米本団地4街区39棟
- ③電話 047-488-2471 FAX 047-488-8615
- ④ホームページ <https://www.ainosono.or.jp/mariya/>

(2) 在籍園児の状況（月別・クラス別）2022年度 在籍園児数年間人数集計表

	5歳		4歳		3歳		幼児合計	2歳	1歳	0歳	乳児合計	合計		定員割合	
	2号	1号	2号	1号	2号	1号						2・3号	1号	2・3号	1号
4月	20	2	18	1	18	3	62	18	10	6	34	90	6	90%	67%
	22		19		21							96	88%		
5月	20	2	18	1	18	3	62	18	11	7	36	92	6	92%	67%
	22		19		21							98	90%		
6月	20	2	18	1	18	3	62	18	11	7	36	92	6	92%	67%
	22		19		21							98	90%		
7月	20	2	18	1	18	4	63	18	11	7	36	92	7	92%	78%
	22		19		22							99	91%		
8月	20	2	18	1	18	4	63	18	14	9	41	97	7	97%	78%
	22		19		22							104	95%		
9月	20	2	18	1	18	4	63	18	15	9	42	98	7	98%	78%
	22		19		22							105	96%		
10月	20	2	18		18	4	62	18	15	9	42	98	6	98%	67%
	22		18		22							104	95%		
11月	20	2	18		18	4	62	18	15	9	42	98	6	98%	67%
	22		18		22							104	95%		
12月	20	2	18		18	4	62	18	15	9	42	98	6	98%	67%
	22		18		22							104	95%		
1月	20	2	18		18	4	62	18	15	9	42	98	6	98%	67%
	22		18		22							104	95%		
2月	20	2	18		18	4	62	18	14	9	41	97	6	97%	67%
	22		18		22							103	94%		
3月	20	2	18		18	4	62	18	14	9	41	97	6	97%	67%
	22		18		22							103	94%		
合計	240	24	216	6	216	45	747	216	160	99	475	1147	75	96%	69%
	264		222		261							1222	93.4%		

(3) 定員充足率（毎年度3月末現在）

2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
93.4%	95.9%	109%	106%	108%

(4) 職員の概要

○常勤職員

- 園長 1名
- 主幹保育教諭 2名
- 副主幹保育教諭 1名
- 保育教諭 6名
- 栄養士 2名
- 調理員 1名
- 看護師 1名
- 事務員 1名

○非常勤職員

- 保育教諭 17名
- 事務員 1名
- 時間外保育従事者 9名
- 園児擁護員 2名

○嘱託医

- 学校内科医 1名
- 学校歯科医 1名
- 学校薬剤師 1名

○ 平均勤続年数：約8年（時間外保育従事者、嘱託医除く）

2. 事業の概要

(1) 地域の子育て支援への取組み

- ・一時預かり事業...ニーズ有。市役所や公共機関へチラシを常設しながら事業のアピール継続
- ・園庭開放...「カンガルーのぼっけ広場」と名称及びPR方法を刷新し、活動継続
→Instagramの反響が大きく、リピーターも増え毎回定員を割ることなく参加者がありました。
また、イベントの開催も行い子育て支援の枠を広げることができました。
2023年度も継続してInstagramでの告知及びPRを行うとともに、
チラシ配布時期、配布地域の検討及び活動内容の検討を加え、地域の子育て支援を継続して行っていきます。
- ・プレ保育(小鳩ルーム)...子育て支援及び1号認定入園へつなげていく活動として継続
2022年度の小鳩ルーム利用者は今年度3歳児クラスへ入園に結びつきました。
- ・小学生の遊び場(虹の広場)...感染症対策として定員を定めて活動。学校の統合があり、開催時間等に考慮しながら行いましたが、特に大きな問題なく活動でき、小学生の居場所として喜ばれました。
新年度については団地内同様の活動を行っている団体がありますので、連携して行える方向で動いています。

(2) 職員の研修と育成に関する方針

- ・職員が生き生きと働くことができるために、安定した休憩や休日確保のための労働環境面での整備を進め、職員同士の工夫の重ね合いの中で改善でき、有休消化率も上がりました。(2022年度有給取得率：常勤職員82%、職員全体94%)
- ・保育事務に追われ、職員の疲労感やクラスミーティング時間が持てず保育の質低下につながるように、保育事務時間の確保に努め、クラス内ミーティングの時間も多く持てるように工夫を重ねてきました。
主任及び働きやすさ委員会職員を中心に休憩シフトやTO-DOリストを作成し、業務の見える化、進捗状況の見える化を図り、負担が一人に集中しないような工夫も併せて行っています。
次年度は、時間の確保ができるようになってきたので、保育の質の向上を目指し、ミーティングをはじめ、会議の充実、そして職員同士の対話を重視し、内容の充実を図ることを目標にしていきます。
- ・昨今の不適切保育を受けて他山の石としてとらえ、ヒヤリハットの利用を日常化してきました。
大きな事故や不適切保育を未然に防ぐツールとしての利用、フィードバックの強化をしていくとともに、保育の基本の確認を次年度の課題としていく。
- ・各々の目標設定を明確にし、課題への取組みと振り返りを大切にしていくことでモチベーション維持及び向上を図りました。次年度も継続していく。

(3) 中長期的な計画（保育・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況

〔人事〕

○職員確保

- ・実習生の受入れ増...就職へつなげるチャンスとして今後も実習生の受入れを丁寧に行う
- ・就職説明会への参加及び養成校へのアピール（現行継続）

〔保育〕

- ・行事内容見直し継続（質の向上と保育者の働き方改革も含めた検討を継続実施）
- ・各個人の目標設定の明確化...現行継続
- ・キャリアパス会議の継続...研修委員会が中心となり形式的なものは定着した
- ・保育ミーティングの充実化を図る...時間の確保はできるようになったので、
今後は内容の充実を図る
- ・キャリアアップ研修（他外部研修）フィードバック...時間捻出できず共有化が進まず
→継続して実現化を目指す

- ・定期的な保育基礎の確認
園理念の継承と共有を深め、各クラス各自の振返りを大切にしていく。
不適切保育の根絶
→ヒヤリハットの活用及び法人研修委員会で作成したチェックリストの利用
カリキュラムの振返りをもとにした立案の徹底
現場でのOJTを大切にしていく

〔施設〕

- ・教材整理...継続中
- ・蔵書整理と修繕...継続中
- ・ホール防火カーテンの入替（'25年頃を目途）
- ・1号館2階トイレ修繕

3. 財務の状況

(1) 決算の概要

①貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
流動資産	27,732,526	25,235,940	28,573,441	27,539,132	35,882,718
固定資産	273,341,863	290,951,327	310,233,459	335,472,739	356,365,292
資産の部合計	301,074,389	316,187,267	338,806,900	363,011,871	392,248,010
流動負債	24,992,172	26,006,392	25,666,211	27,591,070	26,132,183
固定負債	50,835,755	54,543,130	58,382,380	66,292,290	70,553,790
負債の部合計	75,827,927	80,549,522	84,048,591	93,883,360	96,685,973
基本金	30,174,601	30,174,601	30,174,601	30,174,601	30,174,601
国庫補助金等特別積立金	92,510,948	100,492,163	108,647,243	115,910,338	124,021,133
その他の積立金	5,500,000	3,295,000	2,371,000	4,447,000	6,523,000
次期繰越活動増減差額	97,060,913	101,675,981	113,565,465	118,596,572	134,843,303
純資産の部合計	225,246,462	235,637,745	254,758,309	269,128,511	295,562,037
負債及び純資産の部合計	301,074,389	316,187,267	338,806,900	363,011,871	392,248,010

②資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

勘定科目		2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	
事業活動による収支	収入	保育事業収入	173,111,358	160,790,448	187,009,405	191,416,075	163,809,079
		借入金利息補助金収入	0	0	0	0	0
		経常経費寄付金収益	252,560	180,105	231,840	235,874	643,339
		受取利息配当金収入	247	235	627	1,800	2,359
		その他の収入	2,840,433	2,636,531	3,796,583	3,483,728	2,750,093
		事業活動収入計	176,204,598	163,607,319	191,038,455	195,137,477	167,204,870
	支出	人件費支出	133,884,915	119,539,351	143,692,612	153,516,710	140,923,063
		事業費支出	15,533,370	15,007,579	14,471,827	14,307,248	14,474,294
		事務費支出	14,679,218	18,127,877	18,162,431	14,469,033	12,082,727
		支払利息支出	256,387	276,967	308,684	344,115	379,544
		その他の支出	1,931,340	1,720,650	2,216,510	2,127,600	1,713,500
		事業活動支出計	166,285,230	154,672,424	178,852,064	184,764,706	169,573,128
事業活動資金収支差額	9,919,368	8,934,895	12,186,391	10,372,771	△ 2,368,258		

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

勘定科目		2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
施	施設整備等補助金収入	0	0	1,082,000	0	0

施設整備等による収支	収入	設備資金借入金収入	0	0	0	0	0
		その他の施設整備等による収入	0	0	54,000	94,500	0
		施設整備等収入計	0	0	1,136,000	94,500	0
	支出	設備資金借入金元金償還金支出	4,176,000	4,176,000	4,671,000	4,671,000	4,671,000
		固定資産取得支出	40,500	13,500	1,281,300	1,390,817	11,466,900
		施設整備等支出計	4,216,500	4,189,500	5,952,300	6,061,817	16,137,900
施設整備等資金収支差額		-4,216,500	△ 4,189,500	△ 4,816,300	△ 5,967,317	△ 16,137,900	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	453,868	2,134,614	3,889,746	2,279,517	14,560,751
		拠点区分間繰入金収入	0	1,017,997	0	0	10,572,000
		その他の活動収入計	453,868	3,152,611	3,889,746	2,279,517	25,132,751
	支出	積立資産支出	3,295,250	691,500	805,875	1,074,250	1,011,750
		拠点区分間繰入金支出	2,647,680	6,664,188	6,714,794	15,533,194	6,842,932
		その他の活動支出計	5,942,930	7,355,688	7,520,669	16,607,444	7,854,682
	その他の活動資金収支差額		-5,489,062	△ 4,203,077	△ 3,630,923	△ 14,327,927	17,278,069
当期資金収支差額合計		213,806	542,318	3,739,168	△ 9,922,473	△ 1,228,089	
前期末支払資金残高		10,970,548	10,428,230	9,689,062	19,611,535	20,839,624	
当期末支払資金残高		11,184,354	10,970,548	13,428,230	9,689,062	19,611,535	

③事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

勘定科目		2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	
サービス活動増減の部	収益	保育事業収益	173,111,358	160,790,448	187,009,405	191,416,075	163,809,079
		経常経費寄付金収益	252,560	180,105	231,840	235,874	643,339
		その他の収益	0	0	624,139	211,402	106,922
		サービス活動収益計	173,363,918	173,363,918	187,865,384	191,863,351	164,559,340
	費用	人件費	131,224,297	121,392,237	143,959,741	154,267,443	142,034,062
		事業費	15,533,370	15,007,579	14,471,827	14,307,248	14,474,294
		事務費	14,679,218	18,127,877	18,162,431	14,469,033	12,082,727
		減価償却費	20,323,582	20,556,382	20,656,662	20,522,370	19,945,774
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-7,981,215	△ 8,155,080	△ 8,345,095	△ 8,110,795	△ 8,122,675
		サービス活動収益計	173,779,252	166,928,995	188,905,566	195,455,299	180,414,182
サービス活動外増減差額		-415,334	△ 5,958,442	△ 1,040,182	△ 3,591,948	△ 15,854,842	
サービス活動外増減の部	収益	受取利益配当金収益	247	235	627	1,800	2,359
		その他のサービス活動外収益	2,840,433	2,636,531	3,172,444	3,272,326	2,643,171
		サービス活動外収益計	2,840,680	2,636,766	3,173,071	3,274,126	2,645,530
	費用	支払利息	256,387	276,967	308,684	344,115	379,544
		その他のサービス活動外費用	1,931,340	1,720,650	2,216,510	2,127,600	1,713,500
		サービス活動外費用計	2,187,727	1,997,617	2,525,194	2,471,715	2,093,044
サービス活動外増減差額		652,953	639,149	647,877	802,411	552,486	
経常増減差額		237,619	△ 5,319,293	△ 392,305	△ 2,789,537	△ 15,302,356	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	0	1,082,000	0	0
		拠点区分間繰入金収益	0	1,017,997	0	0	10,572,000
		その他の特別収益	0	0	0	0	0
	費用	固定資産売却損・処分損	7	0	8	0	0
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	0	1,082,000	0	0
		拠点区分間繰入金費用	2,647,680	6,664,188	6,714,794	15,533,194	6,842,932
		拠点区分間固定資産移管費用	0	0	0	0	0
特別増減差額		-2,647,687	△ 5,646,191	△ 6,714,802	△ 15,533,194	3,729,068	
当期活動増減差額		-2,410,068	△ 10,965,484	△ 7,107,107	△ 18,322,731	△ 11,573,288	
繰越	前期繰越活動増減差額		101,675,981	110,565,465	118,596,572	134,843,303	132,340,591

活動増減差額の部	当期末繰越活動増減差額	99,265,913	99,599,981	111,489,465	116,520,572	120,767,303
	基本金取崩額	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額	295,000	2,076,000	2,076,000	2,076,000	14,076,000
	その他の積立金積立額	2,500,000	0	0	0	0
	次期繰越活動増減差額	97,060,913	101,675,981	113,565,465	118,596,572	134,843,303

④財務比率の経年比較

	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
経常増減差額率	13.7%	△ 3.3%	△ 0.2%	△ 1.5%	△ 9.3%
流動比率	111.0%	97.0%	111.3%	99.8%	137.3%
純資産比率	74.8%	74.5%	75.2%	74.1%	75.4%
固定長期適合率	99.0%	100.3%	99.1%	100.0%	97.3%
借入金償還余裕率	44.7%	49.8%	40.9%	48.3%	△ 213.3%
事業活動資産収支差額	5.6%	5.5%	6.4%	5.3%	△ 1.4%
人件費比率	75.7%	75.4%	76.6%	80.4%	86.3%
事業費比率	9.0%	9.3%	7.7%	7.5%	8.8%
事務費比率	8.5%	11.3%	9.7%	7.5%	7.3%

(2) その他

①借入金の状況

借入先	期首残高	当期償還額	差引期末残高	利率 (%)	償還期限
(独) 福祉医療機構	53,940,000	4,176,000	49,764,000	0.7	2035.02

(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対策

①収益性

今年度は昨年度より0歳児が3名増の9名だったことで経常増減差額率をプラスにすることができたので安定的・継続的な経営となりました。

2023年度は受け入れ人数決定時の職員確保ができなかったことから、3名からのスタートではあるが新年度スタート時点で職員確保もできたので、少しずつでも確実に増やしていく予定とします。

②短期安定性

支払能力を示す流動比率は200%以上であることが望ましいが、2022年度は111%と100%を上回りました。次年度2023年度は職員の確保ができていることから補助金も安定した収入が見込まれると考えます。

③長期持続性

借入金元金の返済負担の大きさを表す借入金償還余裕率は変わらず40%台を推移している為、このまま維持していきたいと思えます。

④資金繰り

固定資産整備に関する資金のバランスを表す固定長期適合率は100%を下回ることが望ましく、今年度は100%を下回ることができました。次年度もこの率を維持していきたい。

⑤合理性（人件費・事務費・事業費）

人件費は70%を下回ることが望ましいが、全体の職員配置を考慮するとこのままの人件費を維持していきたい。

事務費は昨年度より2.8%減少させることができました。2023年度は常勤4名の確保のうち新卒採用やハローワークからの採用ということで、毎年の課題となっていた手数料が抑えられると考えます。また、このことで2023年度は4月から職員加配が取れている状況です。4月に支出なく職員の採用ができていることは大きな事務費削減となりました。次年度は今期入職者の早期離職を防ぎ職員の定着化に尽力していく。

○今後の課題と目標

- ・2023年度は0歳児3名のスタートの為、引き続き市と連絡を取り合いながら0歳児の確保に努める
- ・職員の早期離職防止と定着化（事務費削減）
- ・2023年度は土地貸借料の積立が最後となるため、次年度以降は自己資金で賄わなければならないことから、土地貸借料（年4,176,000円）の資金確保が必要。